

大学院数学専攻長 殿
 大学院数学関連専攻長 殿
 数学関連学科長／コース長 殿

一般社団法人日本数学会
 『数学通信』編集委員長 佐藤 周友

修士および博士論文タイトル等の調査への協力のお願いについて

平素より日本数学会の運営にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年12月9日付け文書「修士および博士論文タイトル等の調査方法の変更およびご協力のお願いについて」によりご連絡いたしましたとおり、日本数学会では数学・数理科学分野における若手研究者の研究動向や研究分野の変遷を把握することを目的として、修士および博士論文の提出者の氏名および論文タイトルの調査を実施いたします。また、博士論文の情報については、本会会員への情報提供を行うことを目的として、本会機関誌『数学通信』第31巻第1号（2026年5月発行予定）に掲載をさせていただきます。つきましては、下記の要領によりご協力を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、本調査は修士および博士論文の提出者がオンラインフォームに入力する方法により実施いたしますので、下記の実施要領にご了承をいただいたうえで、別紙の調査依頼書を修士および博士論文の提出者に送付していただきますよう、ご協力の程お願ひ申し上げます。

本調査ウェブページ（調査依頼書pdfファイル等掲載）

<https://www.mathsoc.jp/publications/tushin/info/thesis/>

記

1. 調査対象

2025年4月1日から2026年3月31日の期間に授与された数学を内容とする修士、課程博士および論文博士

2. 調査内容の公表

博士論文の提出者の氏名および論文タイトルについては、『数学通信』第31巻第1号（2026年5月発行予定）の誌面で公表いたします。修士論文については今回から公表いたしませんが、本会がそれらのデータを収集・把握しておくことは高等教育にとって有益であると考え、データの収集は今後も続けてまいりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

3. 調査項目

(1) 修士論文

- ・論文提出者の氏名
- ・論文提出者の所属機関名
- ・論文提出者の連絡先メールアドレス
- ・論文タイトル
- ・入力内容に間違いないことの確認（論文主査が確認済みであること）

(2) 博士論文

- ・論文提出者の氏名
- ・論文提出者の所属機関名
- ・論文提出者の連絡先メールアドレス

- ・論文タイトル
- ・数学通信への掲載許可
- ・論文の主査の氏名
- ・論文の主査の連絡先メールアドレス
- ・入力内容に間違いがないことの確認（論文主査が確認済みであること）

4. 調査方法

①各数学専攻・数学教室におかれましては。別紙の調査依頼書「博士論文タイトル等の調査について（依頼）」または「修士論文タイトル等の調査について（依頼）」を、調査対象である修士または博士論文の提出者にお送りいただきますようお願いいたします。
なお、調査依頼書（pdfファイル）は下記の本調査ウェブページに掲載しておりますのでご活用ください。

<https://www.mathsoc.jp/publications/tushin/info/thesis/>

②修士および博士論文の提出者は、調査依頼書に記載されたオンラインフォームにより回答をお願いいたします。なお、回答にあたっては、入力内容を論文の主査に確認および了承をいただいてください。

③博士論文の提出者の氏名および論文タイトルについては、『数学通信』第31巻第1号（2026年5月発行予定）に掲載いたします。掲載にあたっては、掲載内容に誤りがないかどうかご確認いただけるよう、数学通信編集部より論文の主査宛てに掲載原稿を送付させていただきます。なお、本調査に対して回答があり、かつ掲載を承諾する意思表示が確認できた場合に掲載いたします。

<担当>

一般社団法人日本数学会事務局

修博論文タイトル等調査担当

E-mail : thesis(at)mathsoc.jp

(at)は@換えてください。